

# 【SDGs体験型地域プログラムの第四次認定について】

# 認定に当たっての考え方

- ① プレイヤー自身が発信することも重要視しているため、**意欲があるものを幅広く認定。**
  - 意欲が有る限り、県が伴走型で支援を行うことが基本姿勢。
  - 認定基準に未達の項目は、原則、磨き上げで対応。足りていない基準として、認定通知で明記。
- ② 支援の内容が定まらないもののみ、**認定を見送る。**
- ③ プログラムの継続や県と協力した取組が困難になった場合には、**認定を取消す可能性あり。**

## 1. 認定プログラムの構成

### (1) 基準を満たしたものを、**全て認定する。**

- ① ひょうごフィールドパビリオンの展開趣旨にふさわしいか
  - ア) 各地域に根差したストーリーや稀少性、独自性など
  - イ) 地域や社会の諸課題を解決し、未来志向型の成果を探求
  - ウ) 事業の継続性や地域の持続可能性
- ② プログラムのブラッシュアップや周辺他プログラムとの連携
- ③ 社会通念上、懸念があるか。

### (2) 基準を満たしたものを、**プレミアとして選定**

『各地域の風土・文化との親和性』や『事業の持続可能性』から地域の核となるもの

### (3) **未達の項目があるプログラム**

『今後、より地域を豊かにする可能性』が高いと期待できるもの

## 2. 認定外・対話を継続して再チャレンジ可能

# 第四次認定のプログラム概要

## □第四次認定対象プログラム：

令和5年7月～10月までに応募のあった35件のプログラムのうち、  
辞退の1件を除く、**34件のプログラムが対象**

## 【第四次認定プログラム】

**認定：30件（合計185件）**

※既認定プログラムのうち、1件が認定を辞退

認定を見送る：  
4件

### 地域別件数

地域	件数
摂津	5(41)
播磨	8(76)
但馬	9(33)
丹波	1(19)
淡路	7(16)

※括弧内は、全認定プログラムの件数。

### 分野別件数

分野	件数
震災復興	1(5)
自然・環境	6(44)
農林水産	5(28)
食	5(17)
経済 <sub>3</sub> 地場産業	6(47)
文化・芸術	7(44)

- 地域に根ざしたストーリーがない
- 企画が十分に練られていないプログラム等

# (1)認定プログラム(抜粋)

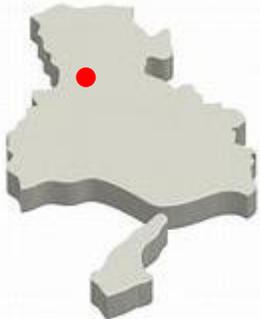
### 明延（あけのべ）むかし、いま、みらい（養父市）

#### 【発信できるテーマ性】

- 平安時代初期に銅鉱山として始まった**明延鉱山**。多品種の非鉄金属鉱脈をもつ鉱山であったが、1909年に錫の大鉱脈が見つかったからは、**日本一の錫鉱量を誇り、全国のシェア9割を誇る**までに。しかし、プラザ合意後の急激な円高により、大幅な赤字を計上し、**採掘可能な鉱脈を残したまま、1987年に閉山**を迎える。
- 現在でも、**社宅や共同浴場が残る**など、人口4,000人強を抱えた当時の活性化した町の面影が伺える。近隣の神子畑選鉱所まで鉱石や従業員を運ぶ電車は、運賃が1円の「**1円電車**」として知られ、現在でも当時の車両を使った体験もできる。
- 本プログラムでは、**地元のガイドと地域外のサポーターが協働**することにより、閉山当時のまま残る坑道の一部を見学するとともに、「1円電車」をはじめ、町に残された様々な遺構を巡り、**過疎地域の持続可能な取組を学ぶ**もの。

概要：ガイドが同行して、近代産業遺産の明延鉱山の坑道を探索するとともに、1円電車の乗車体験や明延地区の街歩き、マウンテンバイクのトレイルなどを体験する。

実施主体：養父市



▲明延鉱山の中心地跡



▲坑道内を散策



▲機器も展示



▲1円電車

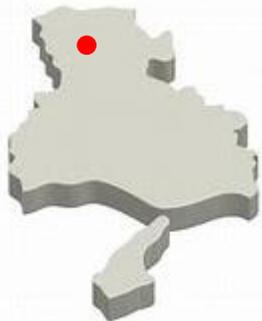
### 遊べる農園で野菜収穫体験（香美町）

#### 【発信できるテーマ性】

- 農業者の高齢化に伴い増えてきた矢田川に隣接する**耕作放棄地を農地に戻すべく**、牛糞を堆肥に土づくりを行い、野菜を育てるとともに、食品ロス削減に向けて規格外野菜を使った加工品づくりや、稲作のために農地貸出にも取り組んでいる。
- 農地の再生に当たっては、近隣のバイパス工事において**トンネル掘削で発生した残土を使用して、農地全体のかさ上げ**を図り、矢田川からの水害対策に備えるとともに、元々あった農地土壌を埋め戻すなど、環境の循環にも配慮。
- 「**遊べる農園**」として、農業体験だけでなく、川や野菜畑に囲まれた自然地を活かしたキャンプ場も運営。
- 本プログラムは、利便性追求の代償として発生する**残土等の不要物を積極的に自然の中で活用して田園風景を取り戻す**とともに、その場所での野菜の収穫体験や燻製などの加工体験、そしてキャンプでの自然体験などを学ぶことができる。

概要：遊べる農園で、季節の野菜の収穫体験を行い、採れたて野菜を試食する。

実施主体：むらおか夢アグリ株式会社



▲残土を活用



▲育てているピーマン、生食も



▲川沿いのブランコ



▲キャンプ場

## 後世に伝える「淡路人形浄瑠璃」（南あわじ市）

### 【発信できるテーマ性】

- 国生み神話ゆかりの「戎舞」が起源といわれる**淡路人形浄瑠璃**。元々は、豊漁や豊作を祈願し、感謝するための神事として始まり、時代の流れとともに民衆娯楽への変化を経て、広く人々に親しまれるようになった。
- 人形浄瑠璃とは、語り、三味線、人形の3つの芸能が集まったもので、淡路人形浄瑠璃には**500年以上の歴史**がある。最盛期を迎えた江戸時代には40以上の人形座があり、全国各地へ人形浄瑠璃の魅力を伝えたが、**現在は淡路人形座だけに**。**国の重要無形民俗文化財**に指定されており、大阪で発展を遂げた**文楽のルーツ**にもなった。
- 本プログラムでは、**戎舞**を現代人にもわかりやすい言語で公演することに加え、**人形の解説、バックステージツアー**を組み合わせ、伝統芸能の歴史や淡路島との関わりについて学ぶことができる。

概要：人形の解説や戎舞の体験のほかバックステージツアーの実施。

実施主体：（公財）淡路人形協会淡路人形座



▲淡路人形座外観



▲人形の紹介



▲ステージ



▲バックステージ体験

### 繊維生地のプロフェッショナルから学ぶ、サステナブル繊維「ウール」の可能性を知る工場見学ツアー （加古川市）

#### 【発信できるテーマ性】

- 1896年に神戸で創業した日本毛織。1899年に加古川工場を操業して以降、天然繊維「ウール」を軸に、制服などの生地の製造を行っている。1919年に操業した印南工場は、100年以上の歴史があり、現在でもウール生地を製造している。
- 本プログラムでは、「ウールLABO」と称した実験学習プログラムと印南工場の見学がセットになったもの。機能性化学繊維を用いたファストファッションが人気を博する中、ウール自身がもつ素材の魅力や機能性に着目した魅力を伝えるとともに、大量廃棄などファッション業界がもつ課題に向けて、思慮を深めることができる。
- 併せて、明治時代に建てられ、映画の撮影地等でも活用される社宅の街並みや歴史を学ぶとともに、加古川駅までの往路や復路で地域遺産などをガイド付きで巡ることができ、日本毛織が加古川で果たしてきた役割や現在での取組を余すところなく学べる。

概要：加古川の発展に寄与してきた日本毛織株式会社の取り組みとウールの持つ可能性を講座、工場見学や社宅群の散策を通して体感する。

実施主体：（一社）加古川観光協会



▲のこぎり屋根が残る工場



▲縦糸の組み合わせ



▲製品に刻印



▲生地の比較



▲社宅の街並み

## (2)第四次認定プログラム一覧

# 第四次認定プログラム 一覧：30件

プログラムの名称	実施主体	地域
<b>&lt; 摂津 &gt;</b>		
1 SPORTS FOR CLIMATE ACTION ～雨水循環型スポーツピッチの取り組み～	(一社) Meister	神戸市
2 「靴のまち神戸“ながた”」が繋げるサステナブルな社会	日本ケミカルシューズ工業組合	神戸市
3 神戸タラソセラピーウェルネスクルーズ	早駒運輸 (株)	神戸市
4 国営明石海峡公園神戸地区における里地里山の自然環境体験 プログラム実施	(公財) 神戸市公園緑化協会	神戸市
5 ヨドコウ迎賓館で学ぶフランク・ロイド・ライト建築	芦屋市	芦屋市
<b>&lt; 播磨 &gt;</b>		
6 美味しいひょうごの魚を食べよう！料理教室	兵庫県漁業協同組合連合会	明石市
7 明石の魚の美味しさの秘密を覗く・明石昼網鮭ツアー	(一社) 明石観光協会	明石市
8 繊維生地のプロフェッショナルから学ぶ、サステイナブル 繊維「ウール」の可能性を知る工場見学ツアー	(一社) 加古川観光協会	加古川市
9 織都・西脇～播州織が築いた歴史・文化を訪ねて～	西脇市観光物産協会	西脇市
10 自然との調和がはぐくむ黒田庄和牛と山田錦 ～こころ勢 (はず) む食の深奥を知る～	西脇市観光物産協会	西脇市
11 本物を届けたい～人と産物のテロワール～	農のクリエイティブ万願寺	加西市
12 古民家ステイを伴った農業及び森林体験ツアー	(一社) 紡	多可町
13 兵庫から全国へ 天然の名水で作るおいしい氷 製造過程の見学とかき氷の飲食体験	本田冷蔵 (株)	太子町

# 第四次認定プログラム 一覧：30件

## <但馬>

14	出石でそば打ち体験	NPO但馬國出石観光協会	豊岡市
15	出石皿そば巡り～城下町で味わう伝統の味覚～	NPO但馬國出石観光協会	豊岡市
16	～開府450年～有子山城・出石城の謎に迫る貴方は真の城主になれるか	(株) 出石まちづくり公社	豊岡市
17	【出石皿そば そば庄】が手がける そば職人育成	(有) そば庄	豊岡市
18	豊岡市フットパス体験	豊岡観光協会	豊岡市
19	Happy time for you !! 新たな感動を求めて自然豊かな山陰海岸の海へ繰り出そう！	竹野スノーケルセンター運営協議会	豊岡市
20	明延（あけのべ）むかし、いま、みらい	養父市	養父市
21	兵庫五国苔リトリートツアー	兵庫苔ラボ	朝来市
22	遊べる農園で野菜収穫体験	むらおか夢アグリ株式会社	香美町

## <丹波>

23	丹波地域で60年以上紙加工一筋におこなってきた技術から誕生したteshio paper（花卉包装紙・紙製キット）やエアリングペーパー（紙製緩衝材）を使用したオー・イー・エーファクトリーとワークショップの実施	柏原加工紙（株）	丹波市
----	---	----------	-----

# 第四次認定プログラム 一覧：30件

## <淡路>

- |    |   |                     |       |
|----|---|---------------------|-------|
| 24 | 歴史的産業遺産：紡績工場の跡地をクリエイティブハブに、<br>洲本市からモノづくりの楽しさを世界へ発信   | (株) シマトワークス         | 洲本市   |
| 25 | (仮)大野の菜の花迷路 と 御食つ国淡路のグルメ体験  | (株) ファイブゼン          | 洲本市   |
| 26 | 淡路島玉ねぎを使ったオリジナル缶詰製造体験   | (株) アイナス            | 洲本市   |
| 27 | 後世に伝える「淡路人形浄瑠璃」   | (公財) 淡路人形協会淡路人形座    | 南あわじ市 |
| 28 | 震災の経験から命の大切さをあらためて考えよう<br>～地域コミュニティーの助け合いの大切さ、備えの大切さ<br>を世界に～ 未来の自分たちの命を守る！震災経験者・語<br>り部との対話と野島断層見学 | 北淡震災記念公園<br>野島断層保存館 | 淡路市   |
| 29 | 淡路島佐野港の特産品が、見れる、買える、食べられる<br>～さの小学校テラス～   | (株) さの小             | 淡路市   |
| 30 | 「環境創造型プロジェクトと安藤忠雄ワールド」<br>ガイドツアー  | (株) 夢舞台             | 淡路市   |

# 1 博覧会協会が実施するテーマウィーク

- 「テーマウィーク」は、世界中の国々が半年間にわたり同じ場所に集う万博の特性を活かし、地球的規模の課題の解決に向けて英知を持ち寄り、対話による解決策を探り、いのち輝く未来社会を世界と共に創造することを目的として行う取組
- 約1週間ごとに異なる地球的課題をテーマに設定し、主催者だけでなく、政府・自治体、出展企業など多彩な事業主体が参加
- 実施場所：会場内（各種パビリオン、催事場等）、会場外

## 【博覧会協会テーマウィーク】

日程	テーマ	テーマ領域
4/25(金)～5/6(火)	未来への文化共創	伝統芸能、歴史遺産、地域活性化、観光、アート、音楽、スポーツ、文化芸術、クールジャパン、マンガ・アニメ、eスポーツなど
5/15(木)～5/26(月)	未来のコミュニティとモビリティ	スマートシティ、デジタル田園都市、防災・復興、メタバース、宇宙、ロボット、EV・FCV、自動運転、空飛ぶクルマ、サイバーセキュリティ、MaaSなど
6/5(木)～6/16(月)	食と暮らしの未来	フードロス、フードテック、食育、食文化、スマート農林水産業、サステナブルファッション、エシカル消費など
6/20(金)～7/1(火)	健康とウェルビーイング	感染症対策、ウェルビーイング、ゲノム医療、再生・細胞医療・遺伝子治療、PHR、健康寿命、SBNR、安全な水とトイレなど
7/17(木)～7/28(月)	学びと遊び	生涯学習、EDTEC、知財活用、個別最適化学習、遠隔教育、若者自立、教育格差、STEAM、アントレプレナーシップ、世界の遊びなど
8/1(金)～8/12(火)	平和と人権	飢餓、貧困、格差社会、人権侵害、児童労働・強制労働、人身売買、障がい者参加、ジェンダー平等、LGBTQ、女性の活躍推進、移民、人間の安全保障、多様性と包摂性など
9/17(水)～9/28(日)	地球の未来と生物多様性	気候変動、脱炭素、生物多様性、サーキュラーエコミー、再生可能エネルギー、水素社会、ネイチャーポジティブ、森林破壊、海洋汚染、里山再生、淡水資源など
10/2(木)～10/12(日)	SDGs+Beyondいのち輝く未来社会	SDGs、ポストSDGs、いのち、未来社会

### 「会場外」でのイベントの取扱い（協会より聞き取り）

万博会場に加え、「会場外」でのイベントも募集予定

- ・ 全国規模での各種国際会議などの実施、誘致・連携イベントが対象
- ・ 後援名義のような位置づけで、テーマウィークの趣旨に沿ったイベントに「万博イベント」の冠を付すもの
- ・ テーマウィーク版の公式ロゴマークを作成中
- ・ 協会HPでのイベント情報の発信等を行うことは、現在予定していない。
- ・ 詳細はまだ公表しておらず、R5年秋～年内をメドに周知予定

## 2 兵庫県版テーマウィークの考え方

### ① 兵庫県版テーマウィークの概要

- 博覧会協会が実施するテーマウィークを基本に、**兵庫県独自テーマも追加し、県内の様々な主体が万博会場内外で**テーマに応じた事業を複層的に展開  
(独自テーマ：①災害からの創造的復興（9～10月）、②ひょうごの成長産業と地場産業（9月）)

### ② 目的

- 県版テーマウィーク事業として位置づけることで、**県・市町だけでなく大学、経済団体・事業者、フィールドパビリオン**など、より多くの主体が、万博会場内外で広く万博に参画できる場を創出

< イベントをテーマウィークに位置づけるメリット >

- ① 博覧会協会のテーマウィークと連動し、同時期に実施することで、**イベントの集客力**を引き上げ
- ② 県による一体的な広報活動による**PR効果**  
(県万博WEBサイト、県広報媒体や新聞紙面、全県推進協議会あてメルマガ、県の全県推進協議会、△日前イベントへの参加等)
- ③ 県の万博事業として位置づけることによる**付加価値の向上**
- ④ 希望者には**万博会場（関西パビリオン兵庫県ゾーン等）での発信**も検討
- ⑤ 博覧会協会、県版テーマウィークの**公式ロゴ**（今後検討）の使用 等